

胆膵外科に通院中または通院歴のある患者さん、ならびに御家族の方へ
（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療により採取した既存の検体と診療情報等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とした生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は関西医科大学附属病院研究倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、病院長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 膵癌および胆管癌における adipophilin とその関連分子の発現解析

《共同研究の代表機関名・研究代表者》 関西医科大学附属病院・胆膵外科 診療講師 山木 壮

《研究の目的》 Adipophilin（ADP）は細胞質内脂肪滴膜上に発現する脂質関連蛋白の一つです。膵癌における ADP の発現は有意な予後不良因子ですが、その発現機序については不明です。また、癌細胞では代謝状態が正常細胞とは大きく異なることが知られ、脂質代謝が亢進していることも報告されていますが、ADP の発現と脂質代謝との関係は明らかではありません。本研究では、膵癌および胆管癌における ADP の発現と脂質代謝酵素やグルタミン代謝酵素などの発現との関係について解析し、膵癌および胆管癌における ADP 発現機序を明らかにします。

《研究期間》 研究許可日～2026年12月31日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

膵癌および胆管癌の患者さんで、2010年1月1日から2020年12月31日の間に生検および切除を受けた方

●研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、身体所見、臨床病期、病歴、病理学的所見、併用薬剤、検査結果（画像検査）、治療反応性・予後等

試料：既存の生検および手術で採取した膵癌および胆管癌組織のパラフィンブロック

《外部への試料・情報の提供》

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。個人情報
情報を復元できる情報は、本院の研究責任者が保管・管理します。

試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名：関西医科大学附属病院 病院長 松田公志

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：関西医科大学附属病院 胆膵外科 山木
壮

提供する試料・情報の取得の方法：通常診療時に取得

《研究組織》

〔研究責任者〕

関西医科大学附属病院 山木 壮

大阪医科薬科大学病院 石田光明

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個

人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での検体・診療情報等の取扱い》

お預かりした検体や診療情報等には匿名化処理を行い、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

*上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

関西医科大学附属病院 胆膵外科 担当医師 診療講師 山木 壮
大阪府枚方市新町 2-3-1
電話 072-804-0101 FAX 072-804-2547